



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 平安レイサービス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 秀行  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 (氏名) 山田 朗弘 (TEL) 0463-34-2771  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,672	1.1	738	△2.2	810	△0.9	526	△0.9
2019年3月期第2四半期	4,622	△1.3	754	3.5	818	4.4	531	2.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 524百万円(△1.4%) 2019年3月期第2四半期 532百万円(2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	40.11	—
2019年3月期第2四半期	40.46	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	33,539	18,967	56.6
2019年3月期	33,714	18,600	55.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 18,967百万円 2019年3月期 18,600百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	12.00	28.00
2020年3月期	—	13.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12.00	25.00

(注) 2019年3月期第2四半期末配当の内訳 普通配当12円00銭 記念配当4円00銭

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,379	3.1	1,876	△5.6	2,000	△5.6	1,295	△6.3	98.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	14,667,000株	2019年3月期	14,667,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,533,005株	2019年3月期	1,533,005株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	13,133,995株	2019年3月期2Q	13,133,995株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済の概況は、景気は緩やかな回復基調が続いている中で、個人消費は緩やかに持ち直しており、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり緩やかに回復していくことが期待されております。また、通商問題を巡る緊張の増大や原油価格上昇など金融資本市場の変動に留意が必要な状況でありました。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスによる収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### ① 冠婚事業

当事業では、オリジナル商品の「サウンドファンタジア」において、より臨場感あふれるサウンドを追求するためにオーディオスピーカーとしては最大級のフロアスピーカーを自社開発し、光と音による空間演出を強化するとともに、光り輝くシーンを演出する「シャンパンタワー ルミナス」を新商品として各広告媒体におけるビジュアル面の強化を行ってまいりました。

また、インターネット媒体やSNSを中心とした告知強化および継続したフロントスタッフの新規対応・提案力強化の研修を実施し、新規来館者数及び資料請求数の増加、婚礼成約率向上に努めてまいりました。

その結果、婚礼一組単価および婚礼施行組数は前年同連結累計期間に比べて増加となり、売上高は183百万円（前年同期比18.2%増加）、営業利益は16百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

#### ② 葬祭事業

当事業では、前連結会計年度に開業した「湘和会館岩原」「湘和会館秋葉台」「湘和会館桜ヶ丘」に加え、当第1四半期連結会計期間に開業した「湘和会館鶴巻」も順調に施行件数を伸ばしました。

また、既存大型施設の施行件数増加を図るため、大規模対応のフロアを残しつつ小規模にも対応するフロアラインナップの整備を2019年9月に「湘和会堂町田」において実施いたしました。

さらに、生花祭壇および社内製作による「花園」や「追悼壇」など潜在ニーズを具現化したオリジナル商品の提案を通じて想いを確認する「コンサルティングセールストーク」を推進したほか、受注サポート体制の整備を実施し、生前相談数および施行件数の増加に努めてまいりました。

また、ご家族が故人にゆったりと寄り添える専用安置室「貴殯室」において前連結会計年度に改良を行ったオリジナル商品の畳ベッドを活用し、安置から納棺に至るフローも整備し施行品質の向上に努めてまいりました。

一方で、インターネットを含む各種広告媒体を駆使してより細やかな情報発信を定期的に行うなど告知活動を強化するとともに、オリジナル商品を実際に体感していただくための提案型の施設見学会や内覧会を通じて営業活動を行いました。

その結果、前年同連結累計期間に比べて当社主要エリアにおける死亡人口増減率が上昇し、シェア率も上昇したため施行件数は増加となりました。また、葬祭一件単価は会葬者数減少等の影響により減少し、売上高は3,939百万円（前年同期比0.7%増加）、営業利益は1,068百万円（前年同期比1.4%減少）となりました。

#### ③ 互助会事業

当事業では、互助会加入者総数に対する冠婚葬祭の施行利用率は上昇したものの、互助会利用時の葬祭一件単価が減少し、売上高は108百万円（前年同期比0.1%減少）、営業利益は54百万円（前年同期比2.3%減少）となりました。

#### ④ 介護事業

当事業では、グループホームにおける稼働率は引き続き高水準を維持する一方で、訪問サービス部門は稼働数が減少したため、売上高は547百万円（前年同期比0.7%減少）、営業利益は18百万円（前年同期比8.2%増加）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,672百万円（前年同期比1.1%増加）、経費面では当

社は本年創立50周年を迎え、社史の発刊や各地域ごとに開催した謝恩イベントなどの費用が発生したこともあり、営業利益は738百万円（前年同期比2.2%減少）、経常利益は810百万円（前年同期比0.9%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は526百万円（前年同期比0.9%減少）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

## （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して174百万円の減少となりました。流動資産では、現金及び預金が354百万円減少しました。固定資産では、土地が新規取得により229百万円増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比較して541百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が226百万円減少しました。固定負債では、前払式特定取引前受金が129百万円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して366百万円の増加となりました

### （キャッシュフローの状況の分析）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は352百万円減少し10,416百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は193百万円（前年同期比12.9%減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益810百万円、減価償却費242百万円が計上された一方、前払式特定取引前受金の減少129百万円及び法人税等の支払い500百万円の発生によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は388百万円（前年同期比14.9%減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出398百万円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は157百万円（前年同期比0.5%増加）となりました。これは、配当金の支払い157百万円によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月7日に公表いたしました通期の業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,891,848	10,536,985
売掛金	247,536	231,782
商品及び製品	41,762	41,521
原材料及び貯蔵品	99,811	97,299
その他	108,074	184,058
貸倒引当金	△2,439	△2,500
流動資産合計	11,386,594	11,089,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,350,705	4,315,370
機械装置及び運搬具（純額）	98,033	84,048
工具、器具及び備品（純額）	143,785	148,348
土地	8,313,268	8,542,434
その他	91,151	53,268
有形固定資産合計	12,996,945	13,143,470
無形固定資産	33,869	32,759
投資その他の資産		
投資有価証券	153,459	144,809
長期貸付金	30,000	30,000
繰延税金資産	320,946	315,401
供託金	6,854,500	6,854,500
その他	1,938,509	1,929,879
投資その他の資産合計	9,297,415	9,274,590
固定資産合計	22,328,229	22,450,820
資産合計	33,714,823	33,539,967

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	215,947	173,874
未払法人税等	513,503	286,701
掛金解約手数料戻し損失引当金	3,486	3,008
その他	831,951	679,036
流動負債合計	1,564,888	1,142,620
固定負債		
繰延税金負債	26,464	23,505
役員退職慰労引当金	83,912	83,912
退職給付に係る負債	147,138	154,183
資産除去債務	128,712	132,281
前払式特定取引前受金	12,992,547	12,862,915
その他	170,813	173,320
固定負債合計	13,549,588	13,430,117
負債合計	15,114,476	14,572,738
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	15,644,646	16,013,839
自己株式	△670,502	△670,502
株主資本合計	18,598,055	18,967,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,291	△18
その他の包括利益累計額合計	2,291	△18
純資産合計	18,600,347	18,967,228
負債純資産合計	33,714,823	33,539,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,622,035	4,672,592
売上原価	3,254,169	3,288,031
売上総利益	1,367,866	1,384,561
販売費及び一般管理費	613,148	646,310
営業利益	754,717	738,251
営業外収益		
受取利息	1,530	1,665
受取配当金	742	768
掛金解約手数料	11,480	10,566
受取家賃	22,223	22,119
有価証券売却益	-	2,994
その他	32,381	38,877
営業外収益合計	68,358	76,990
営業外費用		
供託委託手数料	151	149
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	929	837
保険解約損	122	132
減価償却費	3,312	3,312
その他	500	237
営業外費用合計	5,016	4,668
経常利益	818,059	810,574
税金等調整前四半期純利益	818,059	810,574
法人税、住民税及び事業税	266,584	280,000
法人税等調整額	20,098	3,772
法人税等合計	286,682	283,773
四半期純利益	531,377	526,800
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	531,377	526,800



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	531,377	526,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	812	△2,310
その他の包括利益合計	812	△2,310
四半期包括利益	532,189	524,489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	532,189	524,489
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	818,059	810,574
減価償却費	211,980	242,619
掛金解約手数料戻し損失引当金の増減額 (△は減少)	△191	△477
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	168	61
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,518	7,044
受取利息及び受取配当金	△2,272	△2,433
保険解約損益 (△は益)	122	132
売上債権の増減額 (△は増加)	△50,894	15,754
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△2,994
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,121	2,752
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,489	△42,072
前払式特定取引前受金の増減額 (△は減少)	△126,520	△129,631
その他	△140,926	△209,358
小計	698,675	691,969
利息及び配当金の受取額	2,419	2,105
法人税等の支払額	△478,780	△500,490
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,315	193,584
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△25,490	△35,490
定期預金の払戻による収入	27,980	37,980
有形固定資産の取得による支出	△445,188	△398,821
有形固定資産の売却による収入	69	74
無形固定資産の取得による支出	△621	△7,217
投資有価証券の売却による収入	-	8,145
その他の支出	△20,206	△12,847
その他の収入	7,274	19,999
投資活動によるキャッシュ・フロー	△456,181	△388,177
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△156,999	△157,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156,999	△157,779
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△390,865	△352,373
現金及び現金同等物の期首残高	10,905,507	10,768,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,514,641	10,416,570

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	155,181	3,914,197	99	551,834	4,621,313	722	4,622,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	108,356	—	108,356	—	108,356
計	155,181	3,914,197	108,456	551,834	4,729,670	722	4,730,392
セグメント利益	△1,172	1,083,062	55,695	17,559	1,155,144	148	1,155,293

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,155,144
「その他」の区分の利益	148
全社費用(注)	△400,575
四半期連結損益計算書の営業利益	754,717

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	183,491	3,939,892	13	547,956	4,671,353	1,239	4,672,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	108,364	-	108,364	-	108,364
計	183,491	3,939,892	108,378	547,956	4,779,718	1,239	4,780,957
セグメント利益	16,885	1,068,143	54,422	18,994	1,158,446	458	1,158,904

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,158,446
「その他」の区分の利益	458
全社費用(注)	△420,652
四半期連結損益計算書の営業利益	738,251

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。